

続・ふるさと

こぼれ話

第80回

青木の親腸先生(12)

酒井良清物語 移動公民館(10)

南高根沢公民館の知久五郎主事は、昭和30年春、旧水橋村役場の一角に間借りしていた水橋地区農業改良普及所を訪れ、移動公民館活動に普及所が参加してくれるよう要請した。当時の所長が下高根沢大久保の鈴木鉦さんだったこともあり、快く引き受け、普及所で南高根沢地区を担当していた吉田幹男さんが参加してくれることになった。

吉田さんは当時のことを次のように語ってくれた。「当時、普及所では就農したばかりの農業青年たちで構成する4日クラブや青壮年農業経営者の農研クラブの育成や農業者教育、農業技術の向上に力を

入れていました。一方、公民館では青年団の育成、青年学級の自主学習が盛んになっていて、青年教育や仲間づくりという点で普及所と共通性があり、所長から『普及所の仕事と大いに関係するから、吉田君、移動公民館に力を貸してやってくれ』と言われた次第です。移動公民館の時に、病虫害の被害にあった農作物を持参して、どうしたら良いかと相談に来る農家は何人もいました。後日、被害現場を訪れ、被害状況を調べ、対処法など被害農家へ具体的に指導しました。移動公民館の夜の座談会では、青壮年農業経営者の農研クラブの人たちと、

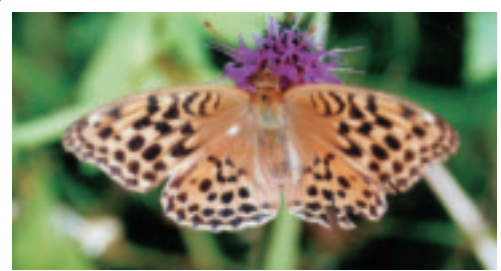


▲20代のころの吉田幹男さん

(つづく)

しまたがしの芳賀の自然

32

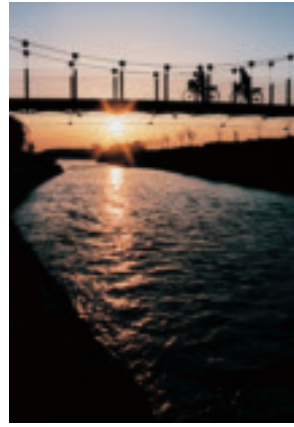


ウラギンスジヒョウモン チョウ目タテハチョウ科

写真提供=芳賀町自然に親しむ会 撮影場所:町内
 分 布=北海道~九州
 生息地=林の縁部の草原を敏捷に飛び回る。高山帯には少ない。
 発 生=5~7月(1回/年)
 食 性=成虫はアザミ・ヒヨドリバナなどのキク科の花を特に好む。幼虫はスミレ科の葉。
 大きさ=開張(羽を広げた最大値)50~65mm
 特 徴=表面は黄色地に黒い紋が散らばるヒョウ柄。前羽の裏側に白っぽい班列がある。

編集後記

□秋も深まってきました。これからはどんどん寒くなっていきますね。
 □体育の秋!の町民大運動会は雨で中止となつてしまいました。今月号にカラーで特集2ページを予定していたのですが、残念です。でも、今月は町民祭と梨の里マラソンがありますので、今度こそ町民の皆さんの表情をカメラにおさめたいと思います。(K)



▲ロマン吊り橋(上延生)

■編集 芳賀町広報広聴委員会
 ☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
 ■発行 芳賀町企画課
 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
 ■芳賀町ホームページアドレス
 http://www.town.haga.tochigi.jp
 ④芳賀町の携帯サイトはコチラから➔

